

商社、デジタルトランスフォーメーション加速

プロセス短縮でコストダウン

無駄省きサステイナブルな生産へ

商社ビジネスのDX（デジタルトランスフォーメーション）が加速している。デジタル技術の活用で、サンプル作成など生産工程のリードタイムを短縮するとともに、高精度のCG画像を使ったECでの先行受注で無駄な物作りを削減する。業界では新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために「密な環境」での展示会の回避が定着しつつあり、リモートによる商談が可能なDXの進展が欠かせなくなっている。



3D画像を生成するレンダリング機能を強化して、生地微妙な風合いなどを表現する（三菱商事ファッション）

20年秋冬で続々採用
三菱商事ファッションは製品OEM・ODM（相手先ブランドによる設計・生産）における試作反やサンプル縫製を不要とする3D・CGスキームを本格化している。既に20年秋冬か

ら、有力セレクトショップや百貨店系アパレル、EC専業アパレルなどでの採用が決まった。「サンプル作成プロセスの削減による大幅なコストダウンや、生産リードタイムの短縮ができる。無駄の削減で利益改善につながる点が、取り組み先の経営

トップから大いに評価されている」という。3D・CGスキームはアパレルのオンラインビジネスに適應する生産手法によって、CG画像処理を利用した先行受注が可能になる。大量の生産や在庫、廃棄を回避するサステイナブル（持続可能）な物作りにも貢献する。CAD（コンピュータによる設計）を起点に、生地スキャンなど3Dの技術を連動させ、3DモデリングシステムからEC掲載用CGを短時間で制作できる。4月にデジタル事業推進本部を新設し、デジタルサプライチェーンマネジメントを拡充する。「今後は多品種小ロットの『マイクロOEM』への対応も強化する」方針。

デジタルカタログで

三井物産アイ・ファッション（MIF）は、過半出資で設立した新会社デジタルカタログを通じて、3Dモデリスタ

業を軌道に乗せる。既にゴールドウインの「ザ・ノース・フェイス」のデジタルカタログで、サンプル画像が採用され、ユーザーの広がりも期待される。「実際のサンプルを確認できない小売店の取引先にも、より精緻でリアルな表現のデジタルサンプルを提供することができ」という。生産面でも、専用ソフト「CLOエンタープライズ」で作製したバーチャルの3Dサンプルに置き換えることで、実物サンプルのやり取りにかかるコストの削減やリードタイムの短縮が可能になる。コロナ禍でリアル展示会の開催を中止する動きがあるが、これらのデジタル技術によって提案手法の幅が広がることにもなる。サンプルレスにつながることから「サステイナブルな物作りを可

能にする事業」としても訴求していく構えだ。丸紅ファッションリンクは21年春夏向けのオンライン展示会を9月30日まで開いている。グリーンノートをテーマにしたナチュラル、サステイナブル、ファンクッションを發揮する素材、製品OEM（相手先ブランドによる生産）を打ち出す。オンライン展示会では天然由来成分によるフッ素フリーの撥水加工「ロータス・ゼロ」や、アウトウェアに使われる高密度織物を特殊ポリウレタンコーティングし、針の穴程度なら修復する「セルフリカバ機能」を持つ「リクロズド」など、オリジナル素材を軸にした提案を拡充した。「オンライン展示会はコロナ禍対応を重視したものの、取引先の物作りへのストレスの軽減や、出張費などのコスト削減に向けて製品提案のプラットフォームを構築する」。将来的にはオンライン展示会を常設化する計画。コロナ禍の終息後も、リアルとオンラインの展示会を両立しながら「取引先の利便性や商談の充実を図りたい」としている。

豊島は7月7日から東京本社で開いている「スマートルーム構想」展の様子を撮影した動画を配信する。コロナ対策の一環で展示会を完全予約制にして入場を制限しているのと合わせて、期間は当初22日までにしてきたが、31日まで延長して来場の要望に応えながら、感染対策に配慮したアピールに努める。